



2026年2月1日発行
1947年10月27日
第3種郵便物認可
発行所/日本YMCA同盟
東京都新宿区本塙町2-11
THE YMCA神戸版
神戸YMCA
〒650-0001
神戸市中央区加納町2-7-11
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
発行人/小澤昌申
編集/本部事務局
印刷/川石特殊印刷株式会社

YMCA News



年間聖句

「あなたがたは世の光である。」
マタイによる福音書5章14節より

～ピンクシャツデーとキャラクターディベロップメント～ 思いやり 誠実さ 尊敬心 責任感

本部事務局 大塚 永幸 ヒサユキ

「ピンクシャツデー」とは、2007年にカナダの学生二人から始まつたいじめ反対運動です。2007年2月、ピンクのシャツを着て登校した少年が「ホモセクシャルだ」といじめられました。それを聞いた先輩二人が50枚のピンクシャツを購入、インターネットで「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけました。翌日、呼びかけに賛同した数百名の生徒がピンクのシャツや小物を身に着けて登校。学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなりました——。

このエピソードはSNS等で70カ国以上に広まっていき、カナダでこの出来事があった2月の最終水曜日は「ピンクシャツデー」と呼ばれるようになり、いじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す一日とされています。

ピンクシャツデーの運動は、全国のYMCAにおいても定着してきたように思います。この運動がYMCA内にとどまらず、これからもより多くの方々を巻き込みながら伝えていければと思います。

私は、ピンクシャツデーのことを考えるときに思い出すことがあります。もう20年ほど前、熊本YMCA時代の出来事です。プールを利用されているご年配の男性会員の方とのやり取りです。

「思誠尊責^{しせいそんせき}って知っとる？」

「なんでしょう？」

「YMCAがつくった四字熟語たい！」

「なるほど、そうですね！」

当時、全国のYMCAで取り組みを始めた「キャラクターディベロップメント運動」の説明を、館内やプールなどに掲示していました。

CARING(思いやり) やさしくする

HONESTY(誠実さ) 正直でいる

RESPECT(尊敬心) 人を大切に思う

RESPONSIBILITY(責任感) 自分でがんばる



この運動は、米国YMCAでの取り組みを日本のYMCA用にアレンジしたもので、4つの価値はキリスト教的価値から選ばれていますが、目新しいものではなく、日本でも昔から大切にされてきた価値観です。

ご年配の会員の方は、日本語の頭文字をつないで、四字熟語にして教えてくださったのです。私はピンクシャツデーを考えるとき、この“思誠尊責”を思い出し、特にこの二つを子どもたちや取り巻く仲間に伝え、この二つについて自分自身を振り返ります。

“思いやり(やさしくする)” “尊敬心(人を大切に思う)”

「いじめ」は、隣人愛の真逆の行動と言えるでしょう。ピンクシャツデーに向けて、隣人愛を表す行動について、考え、語り合い、実践してみませんか。



Pick up

2025年11月18日(火)・19日(水)、高雄
ツアイゼンフー
YMCAの蔡政甫総主事と職員5名が神戸
YMCAを訪問され、児童発達支援事業の
立ち上げに向けて、西宮ブランチの児童発
達支援・子育て支援事業所を視察されま
した。また公益財団法人理事会では、蔡総
主事より高雄YMCAの事業紹介がありま
した。今後の両YMCAの交流発展が期待
されます。



前列中央が蔡総主事、
隣が職員の蘆弘健(ロー・ホンジェ)さん(左から2人目)



西宮ブランチを訪問



No.4

総主事 小澤 昌甲

早いもので2025年度もあと少しとなり、新しい年度を迎える時がきました。2026年は、アメリカ合衆国が建国250年の節目になるとのことですが、当神戸YMCAの姉妹YMCAであるシアトルYMCAも創立150周年、神戸とのパートナーシップ60周年になり、神戸YMCAも創立140年の節目の年を迎えます。

さて、日本では深刻な人口の急減が起こっています。このままの状況では、2030年には全国で、必要とする労働者に対しておよそ640万人（神戸市の約4倍の人口）の働き手の不足が生じると発表されています。AIによる業務自動化が加速しているだけでなく、次世代通信の動きも活発になっています。

この流れは以降も続き、2040年には生産年齢人口（15～64歳）が総人口の約53.9%（約6,000万人）まで減少するという試算もあります。AI社会の進化と共に、いわゆるAIの倫理性や透明性、説明責任を果たす規制や枠組みの策定が必要となります。併せて「リテラシーの育成」、言い換えますと、人間がテクノロジーを「道具」として活用するための教育や、感情、共感力、歴史や哲学といった人間固有の価値を再認識する教育が重要となると考えます。

少子化に伴い、子どもたちがかわる人々の固定化が進むことが予測されます。人間が生きていくためには、必ず人格と人格との交わりが必要であり、五感を通した感情の育成が必要であると考えます。成功だけではなく失敗する経験、悔しい、悲しい経験、歯を食いしばり、力を費やす時間と機会が必要であると、つくづく感じています。教育や学習の多様性の確保も重要でしょうし、我々が活動する神戸で、住む地域による学びの格差が生じないようにすることも必要でしょう。急速に変化する時代に生きる今、「人間が生きる意味を問うことの大切さを忘れないようにしたいと考えます。



第27回 インターナショナル・チャリティーラン2025 開催

2025年11月23日（祝・日）、しあわせの村にて「第27回 神戸YMCAインターナショナル・チャリティーラン2025」を、とても気持ちのいい天候の中で開催し、無事に終えることができました。

今年度も午前中のみの開催で「1/10マラソン」「1.2kmウォーキング」「1/100マラソン」と3つの競技を行いました。1/10マラソン：40名、1.2kmウォーキング：個人12名、グループ46組（160名）、1/100マラソン：122名、計334名が競技に参加され、応援・運営ボランティ

アの方々を合わせると約450名がしあわせの村に集まり盛り上りました。今回はひさしぶりに食べ物（唐揚げ・フライドポテト・フランクフルト・おでん）、飲み物の出店も行いました。

チャリティーランの収益は、全国のYMCAで、心身に障がいのある子どもたちの支援のために用いさせていただきます。多くの皆さまのご協力とご支援で、障がいのある子どもたちを応援することができることに、心より感謝申し上げます。

チャリティーラン実行委員会担当 間 勝也



神戸YMCAちとせ幼稚園

11月後半にアドベントを迎えるました。園内にさまざまなクリスマスの飾りつけをし、子どもたちが作ったクリスマスのプレゼントも日に日に増えていき、心をわくわくと踊らせながら、アドベントの時を過ごしました。

年少の子どもたちに「クリスマスってなんの日だろう？」と聞くと、「ケーキを食べる日！」「サンタさんがプレゼントを持ってきてくれる日！」などと答えます。すると年上の子どもたちが「イエス様のお誕生日なんだよ」と知らせてくれました。

クリスマスの喜び

年長の子どもたちには、聖劇を通してクリスマスの本当の意味を伝えました。羊飼いと博士が馬小屋にたどり着き、赤ちゃんイエス様の前にひざまずいてお祈りをするという場面で、「羊飼いや博士の気持ちになって、なんでもお祈りしていいよ」と話すと、じっと黙って心の中で祈る子どももいれば、「イエス様、ぼくたちを守りに来てくれてありがとう」「生まれてきてありがとう」「だいすきだよ」とお祈りをしている子どももいました。子どもたちの気持ちが私たち保育者にも伝わり、とてもうれしく感じた出来事でした。



西神南YMCA

2025年12月20日（土）、西神南YMCA幼稚園の体育館にて、特別プログラム「大人もバク転教室」を開催しました。高校生以上を対象としたこのプログラムは、昨年度に続き2回目となります。今回は体操クラブのOBや幼稚園児の保護者ら、6名が挑戦しました。

指導にあたったのは、西神南YMCA体操クラブのリーダーたちです。入念なウォーミングアップで体を温めた後、いよいよバク転や宙返りの練習がスタートしました。参加者の皆さんには、自分の動きを動画でチェックしたり、体操専門のリーダーから本格的なア

大人もバク転教室

ドバイスを受けたりしながら、試行錯誤を繰り返していました。

果敢にチャレンジし、目標を達成したときの皆さんの達成感あふれる表情がとても印象的でした。今後もこのようなプログラムを通じ、YMCAの活動が地域に広がるきっかけ作りを継続していきたいと思います。



R E P O R T

神戸YMCA高等学院

カッター操船体験

2025年11月28日(金)、高等学院の生徒たちが国立淡路青少年交流の家にてカッター実習を行いました。生徒の感想を紹介します。

難しかったところは、漕ぎ始める時のリズムに乗れず、漕ぐタイミングがつかめなかったことでした。オールを動かす手順に合わせて、1、2、3、よーいやー！と声を出しながら漕ぐものの、周りとタイミングが合わず、船を動かしているのかもよくわかりませんでした。途中からは余裕がなくなってきて、周りを気にする前にとにかく声を出すことにしました。それまでよ

り一層大きな声で掛け声を出して漕ぐと、腕に力を入れやすくなりました。必死でしたが、オールが立てる波の音がリズムに乗ってきたころには、最初に感じていた難しさなどすっかり忘れていました。声を出すことが想像以上に重要だと、体で実感しました。

感想には海上での緊張感と達成感が凝縮されました。普段は味わえない海上での挑戦を通し、仲間と力を合わせることの難しさと楽しさ、そして成功的喜びを体感できる実習となったのではと思います。



ユースプラザKOBE・EAST

中高生の居場所づくり～放課後カフェ(仮)～

ユースプラザKOBE・EASTでは、中高生の居場所づくりを日々実践しています。

取り組みの一つとして、水曜日と土曜日を中心に、「放課後カフェ(仮)」を設置しています。カフェでは大学生のスタッフが中心となって、中高生にお菓子やジュースを提供したり、おしゃべりやお悩み相談をしたりしています。設置当初は立ち寄ってくれる人が少なく、スタッフが中高生とかかわる機会もあまりありませんでした。しかし最近では知ってくれる中高生が増え、徐々にコミュニケーションが取れるようになっ

てきました。

また、中高生からお菓子やジュースのリクエストを受けて、より喜んでもらえそうなものを用意したり、メニュー表のイラストを月ごとに変更したりと、工夫も重ねています。

カフェの名称がいつまでも「放課後カフェ(仮)」のままなので、中高生から名前を募集し、より距離を縮めたいと考えています。今後は、おしゃべりやお悩み相談に加えて、勉強の相談なども受けつつ、中高生にとってよりよい居場所にしていけたらと考えています。



神戸市立たかとり児童館

おはなしパーク

須磨区にあるたかとり児童館では、毎月第1水曜日に、絵本の読み聞かせを行う「おはなしパーク」を、ボランティアグループ「おはなしプレゼント」の皆さんに実施していただいている。

毎月、季節や行事に合わせた素敵なお絵本を4、5冊選んでくださり、約30分の時間ですが、子どもたちに読み聞かせてくださいます。始まる前は元気いっぱいの子どもたちも、おはなしが始まるといつの間にかその世界に引き込まれています。ある時は真剣な表情で、またある時は笑い声が聞こえてくることもあります。

ます。座って聞いている子、寝そべりながらリラックスして聞いている子、さまざまですが、ボランティアの皆さんの抑揚のある聞きやすいお声で、子どもたちは安心しておはなしに聞き入っています。

児童館の事業は、たくさんの地域の方々やボランティアの方々にかかわっていただき運営しています。地域の皆さんと共に、今後も子どもたちの成長を見守っていくことができればと思っています。



こくさいのまど

台南YMCA来神

2025年11月6日(木)・7日(金)の2日間、台南YMCAの職員5名が神戸YMCAを訪問されました。台南YMCAの学童保育担当者である皆さん、初日に西神戸YMCA学童保育クラブ・太山寺児童館・小寺学童保育コーナーで子どもたちが過ごす様子を視察されたのち、神戸YMCAの担当職員と情報交換を行いました。日本の学童保育は“遊び”が中心ですが、台湾は“学習”が中心ということで、子どもたちの過ごしかたを見て、学童保育そのものの考え方の違いに驚いておられました。

2日目には神戸YMCAの学童保育推進会議に同席され、互いに事業紹介・質疑応答の時間を取って理解を深めました。お互いに疑問に思うことや、どのような研修を行って職員の資質を高めているのかなどといった活発な意見交換がなされ、あっという間に時間が過ぎていきました。

子どもたちの放課後の時間を預かる仲間がさまざまな地にいることを感じた貴重な時間となりました。



台南YMCAの職員(前列右から5名)と

YMCA STORY ヨーロッパ

記憶の中のYMCA、今ここに

ふと、園児だった時の記憶がよみがえることがあります。

12月に、神戸YMCAちとせ幼稚園のクリスマス礼拝がありました。私は西神戸YMCA幼稚園の出身ですが、聖劇で自分がどの役をしたのかも忘れています。しかし、いざ見てみると、セリフも歌も口ずさめている自分に驚きました。

8月には、学童保育クラブで余島キャンプ場に行きました。砂浜の貝殻を夢中で探している子どもたちを見て、私も白い貝殻を集めましたことを思い出して懐かしい気持ちになりました。お腹が痛いと言う子どもに、「お腹を『の』の字にさすたらましになるかも」と伝えながら、そういえばこれ、キャンプ中にお腹が痛くなつた私に先生が教えてくれた方法だったなあと、その場面までよみがえってきました。

他にも、友だちと園庭の隅に「さら砂」がある場所を見つけて、大切に泥団子を作っていたこと。足にトゲが刺さるたびに先生に取ってもらつていたこと。お迎え後、ちょっとだけ寄り道をしながら帰るのが楽しかったこと。幼稚園に来るときにも帰るときにもリーダーがいて、「リー

須磨YMCA職員 大谷 真理子

ダーは幼稚園に住んでるの?」と思っていたこと。今、その場面や環境に会うと不思議と鮮明に思い出し、昔の私と今の子どもたちを重ね合わせてしまっています。

大好きだった幼児体育のリーダーになりたいなあと思ってYMCAに入職し、かれこれ7年目。今、私が過ごしている須磨センターでは、幼稚園、学童、体操、バスケットボールとさまざまな場面で子どもたちとかかわっています。一人ひとりに心優しい素敵なもの、尊敬できるすごいところ、かわいくて仕方がないところ、何をしているのか(?)ちょっと面白いところ…があつて、新発見だらけの毎日です。大人の目線では気が付かなかつたこと、知らなかつたこと、思ひもよらなかつたことがたくさんあって、子どもたちの視点や素直さを大事にしたいなあと思う毎日です。

この子どもたちはどんな大人になるんだろう。大きくなつたらどんな記憶がよみがえるんだろう。そんなことを考えながら、これからも子どもたちやリーダーたちとYMCAで楽しい毎日を過ごしたいです。

ワイズコーナー

EMCシンポジウム開催

六甲部EMC事業主査 北島 伸三さん
(神戸ポートクラブ)

2025年11月15日(土)、六甲部部会に先駆けEMCシンポジウムを開催しました。「EMC」とは新クラブ設立、会員の維持と増強を進める取り組みです。

私は六甲部柳敏晴部長から「すべて任せた」との言葉を受け、シンポジウムの柱となる講話を西日本区EMC事業主任久保田雅彦氏へ依頼したのを皮切りに、シンポジウムの内容を決めるにあたりホストである神戸西ワイズの方々と相談、久保田氏とも打ち合わせを重ね、内容を詰めていました。講話の表題は『クラブの魅力』と『メンバーの満足度』を高めることが会員増強の鍵!!となりました。

当日は私が司会進行役を務めました。講話ではワイズメンバーの会員数の推移を年度別・クラブ別に細かく分類した数字をモニターに映し出し、久保田氏が推移の原因等をわかりやすく解説され、「今年度からワイズ魂でV字回復を!」と締められました。後半は六甲部7クラブ会長・EMC委員に各クラブのEMCへの意気込み等を話していただきました。

ワイズメンバーの高齢化が進み、V字回復を目指すには今以上の魅力あるクラブづくり若いメンバーの入会を図らなければいけません。入会のきっかけとして、留学生はじめYMCA関係の方々に、近くのクラブの例会や催しに参加して頂ければと願う次第です。

キッズプログラム 新年度(2026年度)新規会員募集のお知らせ

ぜひ、各地域のYMCAのホームページをご覧ください。

各地域のYMCA	プログラム	受付開始日時	受付方法
ファミリーウエルネスセンター(神戸市中央区・灘区)	水泳、体操、幼児体育、バスケットボールなど	2/14(土)12:00~	申込方法はHPにてお知らせします。
ウエルネスセンター学園都市(神戸市西区)	水泳、体操、サッカー、ダンスなど	2/14(土)10:00~	電話にて申込受付
西神南YMCA(神戸市西区)	体操、親子体育、バスケットボール		西神南YMCA HPにてお知らせします。
須磨YMCA(神戸市須磨区)	体操、バスケットボール		須磨YMCA HPにてお知らせします。
西宮YMCA(西宮市)	バスケットボール	2/13(金)9:00~	電話にて申込受付
キャンピングサービスセンター(神戸市中央区・西区)	デイキャンプ		キャンピングサービスセンター HPにてお知らせします。

感謝 寄附・募金

(敬称略、順不同)(前号掲載以降~12/15まで)

寄附

山崎往夫、余島キャンプOBOG会、神戸YMCAベルクワイヤー、神戸ワイズメンズクラブ、西宮ワイズメンズクラブ、神戸学園都市ワイズメンズクラブ

子ども奨学金

田中 邦康

国際協力募金

豊田仁氣、熊谷 親啓、熊谷 郁子、小澤 夏子、西出 多栄子、小川 みなみ、三上 展、細谷 主子、YMCAちとせ幼稚園パザー、三宮会館秋まつり、西神戸YMCA幼稚園パザー(コストコ募金)、西宮こどもカーニバル、余島クリスマス会での募金、西神戸YMCA幼稚園パザー保護者有志、西神戸YMCA幼稚園パザー、西宮つとがわYMCA保育園

チャリティーラン

山本 洋子、松森 正樹、田代 雅彦、桑野 友子、福原 吉孝、島田 恒、柏原 佳子、上野 恭男、坂東 幸子、田辺 征一、家城 耕一、山根 泉、郡 美恵子、山本 常雄、山本 容子、大野 勉、進藤 啓介、多田 敦子、佃 治子、尾上 尚司、井出 富光子、石田 由美子、小林 康男、武田 寿子、多胡 葉子、福田 宏子、若林 成幸、若林 弘子、安行 英文、美崎 晋、名田 敦子、一般社団法人 Baby ガーデン、幸友貿易株式会社、ワイズメンズクラブ六甲部、神戸ワイズメンズクラブ、西宮ワイズメンズクラブ、宝塚ワイズメンズクラブ、神戸ポートワイズメンズクラブ、神戸学園都市ワイズメンズクラブ、芦屋ワイズメンズクラブ、ちとせ幼稚園有志

この他にも、多数の寄附・募金等をいただいております。感謝をもってご報告いたします。

神戸YMCA
遺贈制度

神戸YMCAを遺産の受取人に指定し、寄附いただく制度です。

神戸YMCAは創立以来、多くの方々の物心両面からのお支えによって先駆的な働きを進めてまいりました。

大切な財産を未来に遺し、神戸YMCAが今後も社会に必要とされる活動を展開できるよう、大切に役立ててまいります。

神戸YMCAの使命

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。
(神戸YMCA中期計画VISION2030)

ファミリーウエルネスセンター ☎078(241)7202

ランゲージセンター ☎078(241)7204

専門学校 ☎078(241)7203

西宮YMCA ☎0798(35)5987

余島野外活動センター ☎0879(62)2241

キャンピングサービスセンター ☎078(241)7216

国際・奉仕センター ☎078(241)7204

ウェルネスセンター学園都市 ☎078(793)7401

西神戸YMCA ☎078(793)7402

神戸YMCA高等学院 ☎078(793)7435

YMCAおひさま ☎078(793)9077

西神南YMCA ☎078(993)1560

須磨YMCA ☎078(734)0183

YMCA保育園 ☎078(794)3901

西宮YMCA保育園 ☎0798(35)5992

西神戸YMCA保育園 ☎078(792)1011

神戸学園都市YMCAこども園 ☎078(791)2955

神戸YMCAちとせ幼稚園 ☎078(732)3542

西神戸YMCA幼稚園 ☎078(997)7705

西宮つとがわYMCA保育園 ☎0798(26)1016

あかしこども広場 ☎078(918)6355

学園都市YMCA保育ルーム ☎078(794)3045

ユースプラザKOBE・EAST ☎078(891)8222

神戸市立太山寺児童館 ☎078(794)4790

こべっこあそびひろば西神中央 ☎078(964)5808

神戸市立高倉台児童館 ☎078(733)6844

神戸市立たかとり児童館 ☎078(735)6230

YMCA保育園おひさま分園 ☎078(794)4080

おやこふらっとひろば西 ☎078(939)4530

西宮市香櫞園留守家庭児童育成センター ☎0798(33)0214

西宮市用海留守家庭児童育成センター ☎0798(35)1522

西宮市浜脇留守家庭児童育成センター ☎0798(34)1444

